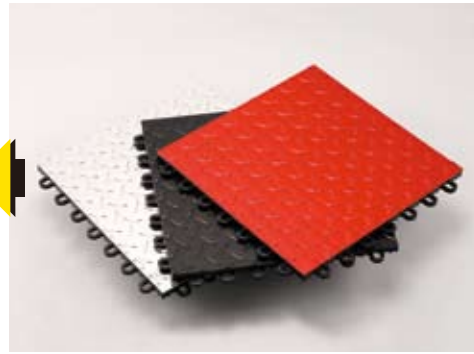


START



3. 床材の裏側を見れば分かるように、プラスチックでできたオスとメスを組んでいけば床面ができていく。まずは横列から組んでいくと作業がはかどるはず。



2. 床材をセットする場合、自分から見た場合、オスが上、右と法則を決めてから施工したい。その法則さえ決まれば、列で組み上げて、繋げていけばOKだ。



1. まずは床面の汚れ、ホコリ、油を雑巾でふき取ろう。ホコリだけならばホウキで sweeping してしまえばいいだろう。そして今回、施工する12インチの床材を並べてみよう。



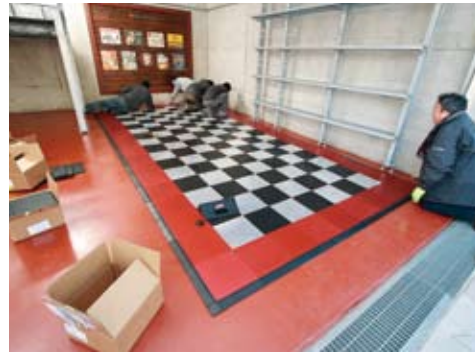
6. 究極の裏技は、広いガレージ外で横列を組み上げて、順番に組み合わせていく方法。この方法を編み出してからが作業時間1/2になった。



5. 握力がなくなってきたところでプラスチック製ハンマーが登場。手のひらで叩くと、次の日に手が痛くなる(経験談)なので注意したい。



4. 1枚、1枚作業をすと確実ではあるが時間がかかるので不幸率。仲間がいれば横列で組み上げて、流れ作業で床材を組み上げていこう。



9. 大人5人が作業分担をして完成したのが1台分のガレージ床面。組み上げた12インチのパネルは171枚。作業時間はおよそ40分。



8. 床面が完成したらプラスチック製のエッジ部分を組み付ける。床面がならかになり、安全性が確保できる。



7. シルバーとブラックの床材を組み上げたところで、床面のまわりのレドを組み付ける。この床材を入れるだけで豪華な床面になる重要な部材。

アルミ製フロアキット 51798106

Xフロア・アルミ製シングルガレージ・ベイキット

カラー(回) リキッドシルバー×ディーゼルブラック

×ラバレッド

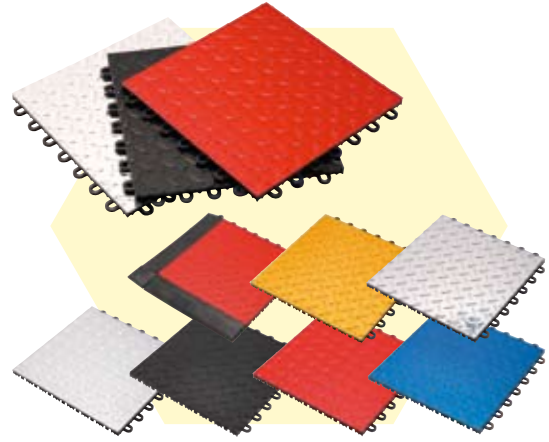
キット内容: 12インチ角タイル×180枚

価格: ¥252,000

施工面積: 横2897mm×縦2897mm×厚み約

15mm(12インチ角・タイル部)

ポリマー樹脂で成型されたベース材の上に、アルミ製のダイヤモンドプレートに接着した高級感溢れるアルミ製タイル(床材)キット。表面のアルミ製ダイヤモンドプレートは、独自のアルマイト加工により美しい色合いを発揮する他、耐腐食性・耐摩耗性を向上させ、色褪せも防いでくれる。もちろん、約200度で加熱、30トンの圧力で圧着されたこのアルミ製ダイヤモンドプレートは、ポリマー樹脂ベースとしっかりと密着しており、ガレージ用床材として十分な強度を保つ。また、アルミ製ダイヤモンドプレート表面にはダイヤモンドパターンと独自のノンスリップ処理が施してあるため、濡れた場合も滑りにくくなっている。



10. クルマの大きさ、ガレージの大きさに応じて床材を購入すればいいので非常にリーズナブルである。クルマのカラーリングに合わせて、床材を購入しなおすことも可能。一般のガレージのほか、商業施設やショップ、カーディーラーでも使えるはずだ。

ポイント ハンマーを使い作業効率をアップ。

How to make up

10

編集スタッフの
実践レポート

人数 [4人]

時間 [2h]

難易度

床面をイメージチェンジ アルミ製フロアキットで高級感を出そう!!

クルマをとめているガレージの床面が油で汚れてしまったり、ひび割れがしてしまい、施工をやり直したいと考えている方に朗報です。ガレージキットを使えば、DIYでガレージを簡単にイメージチェンジ! 必要な工具は軍手と、プラスチックのハンマーだけ。分解も簡単なのでカーショーなどにも使えるキットなのだ!

Photo/Yasuo Kobayashi (小林康雄) Text/Jun Ishihara (石原 淳)
撮影協力/株式会社ホビースペースインターナショナル



よくビルトインのガレージ仕上げで見かけるのがモルタル仕上げ。ガレージ用のペイントを施しているが、時間とともにタイヤ跡や油汚れが目立ち始めてしまう。しかもひび割れなどを起こしたり...。そこで施工をやり直したいと考えている人も多いだろうが、施工中の荷物の移動、クルマの保管を考えたらなかなかできないのが現実である。そこでオススメしたいのがキット化されているアルミ製のXフロア・ガレージベイキットである。実際に編集でも施工手順に沿いながら、どのくらい時間がかかるのかを「ホビースペースインターナショナル」のガレージを使って実験。モルタルの2台用ガレージを使って、大人5人で作業を開始。モルタルのガレージの掃除をしてから、アルミ製・シングルガレージベイキット1台分を組み上げた。必要な道具は手を怪我しないように軍手と、プラスチックハンマーである。作業開始時は素手で作業をしても安全だが、時間が経つにつれ作業が雑になるので手を保護するために軍手はオススメしたい。またハンマーも使わなくても組み立てができるほど簡単な作業だが、次第に握力が低下するのでハンマーがあると便利というわけだ。組み立てる床面積を決めて、横列を組み立てて、合体させていくのが作業効率がいい。ただし1人の場合は移動する距離も考えて1枚、1枚丁寧に楽しむのもいいかも知れない。12インチの角タイル171枚にコーナーのエッジを施工して、大人5人でおよそ40分で完成。最後はハンマーが役に立った。樹脂成型されたダイヤモンドのタイルを敷き詰めて使うガレージ用床材なので、耐腐食性・耐摩耗性を向上させ、ケミカルやブレーキフルード、各種クリス、オイルへの耐性があり、独自のノンスリップ加工により、濡れた場合も滑りにくくなっているのが安心。施工が簡単なら、カラーバリエーションも豊富な床材は編集部お墨付きのオススメ商品である。